

編集後記

昨年12月号でロシア革命100周年にちなんだ特集を組んだ。今年は1968年から50周年ということで学生運動と人類学にかかわる特集とした。本特集の内容からもわかるように、過去のひとコマにするには50年は近すぎることもあったか、1968の評価は定まっていない。そうした多様な意見を念頭におきつつ、たとえば本館が当時おかれた状況を読み比べるのも一興かもしれない。

その一方で「ノンポリ」「ゲバ棒」など意味のわからない言葉が多いと小生よりずっと若い編集室の方からいわれ、50年ひと昔と再認識もした。小生の学生時代、学生運動は完全に下火であったが、学生生活が長かったこともあってか上記のことばはなんとなく耳にしていた。そういえば他大学に遊びに行った際、キャンパス内に「ラブワゴン粉碎!」に類する文言の書かれた立て看板を目にして、その諧謔に感銘したことを突然思い出したが、今ではこちらにも注釈が必要でなかろうか。(丹羽典生)

みんなぱくをもっと楽しみたい方のために 国立民族学博物館友の会のご案内

友の会は、みんなぱくの活動を支援し、博物館を楽しく積極的に活用するためにつくられました。

毎月『月刊みんなぱく』をお届けするほか、さまざまなサービスをご用意しております。

維持会員・正会員

『月刊みんなぱく』の送付／友の会機関誌『季刊民族学』の送付／本館展示の無料観覧／特別展観覧料の割引／友の会講演会への参加／研究者同行の国内外研修旅行への参加 など

ミュージアム会員

『月刊みんなぱく』の送付／本館展示の無料観覧／特別展観覧料の割引／友の会講演会への参加 など

繰り返し入館できる**みんなぱくフリーパス**や、学校・学部単位で利用できる**キャンパスメンバーズ**など各種会員種別もご紹介します。目的にあわせてご利用ください。

詳細は、一般財団法人千里文化財団までお問い合わせください。
 (電話 06-6877-8893 / 平日9:00～17:00)



●表紙：上から

1. 東大紛争 1968年11月29日 (提供：東京大学文書館)
2. 梅棹忠夫初代館長の『EEM』の手書き原稿 (本館所蔵)
3. 水俣病歴史考証館に展示されている水俣病闘争のゼッケン (撮影：平井京之介、2011年)
4. 新宿の地図 (『週刊アンボ』1969年、0号、21頁、国立歴史民俗博物館所蔵、撮影：国立歴史民俗博物館管理部博物館事業課 勝田徹)

次号の予告

特集

「凧」(仮)

月刊みんなぱく 2018年12月号

第42巻第12号通巻第495号 2018年12月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 **国立民族学博物館**

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
 電話 06-6876-2151

発行人 園田直子

編集委員 丹羽典生 (編集長) 寺村裕史 三島禎子
 南真木人 山中由里子 吉岡乾

デザイン 宮谷一 長岡綾子

制作・協力 一般財団法人 千里文化財団

印刷 毎日新聞社

*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係にお願いします。

*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「日本庭園前」下車、徒歩約13分。
- 乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある当館専用通行口をお通りください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。

みんなぱくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

みんなぱくフェイスブック

<https://www.facebook.com/MINPAKUofficial>

みんなぱくツイッター

<https://twitter.com/MINPAKUofficial>

みんなぱくインスタグラム

<https://www.instagram.com/MINPAKUofficial/>

みんなぱくYouTube

<https://www.youtube.com/user/MINPAKUofficial>

